

若者の薬物問題 について考える 講演会



2014/ **12/5** 金
13:30～16:20 (開場 13:00)

**ウィングス京都
イベントホール**

(中京区東洞院通六角下る御射山町262)

定員
240名
参加無料

「薬物乱用の実態について
～危険ドラッグの現状～」

京都府警察本部 組織犯罪対策第三課 辻 健 氏

「危険ドラッグ依存症
～医療現場からの報告～」

京都府立洛南病院 川畑 俊貴 氏

申込方法 ▶ 直接会場へお越しください(先着順, 申込不要)

お問合せ ▶ 京都市こころの健康増進センター

TEL 075-314-0355

若者の薬物問題について考える 講演会

「合法ハーブ」「脱法ドラッグ」という名前で出回っていた薬物への対策として、平成26年4月に規制が強化され、所持や使用、購入、譲り受けも禁止されるようになりました。また、7月からは「危険ドラッグ」と呼び名を改められていますが、こうした薬物の使用による事故や救急搬送はまだまだ起こっています。

今年度は、講演会の前半に危険ドラッグの恐ろしさや規制について、後半に薬物への依存や治療についてお話をうかがいます。

覚醒剤といったこれまでの薬物に比べて手に入れやすく、抵抗なく用いられやすい「危険ドラッグ」は、若者を中心に広がっています。薬物を使わせないために、また、薬物乱用を止められず苦しんでいる人のために、私たちが何をできるか、一緒に考えてみませんか？

講師プロフィール

講演「薬物乱用の実態について～危険ドラッグの現状～」

つじ たけし
辻 健氏

昭和58年、京都府警察へ入職。平成3年より生活安全部。堀川署での勤務から薬物乱用防止対策に携わり始める。現在所属する本部組織犯罪対策第三課でも危険ドラッグ対策に従事し、学校や企業、各種団体を対象とした薬物乱用防止等の広報・啓発を担当。府下で年間約70回の薬物乱用防止教室を実施している。

講演「危険ドラッグ依存症～医療現場からの報告～」

かわばた としたか
川畑 俊貴氏

昭和56年、慶応大学医学部卒業。京都大学医学部精神神経科、兵庫県立光風病院等を経て、平成2年より京都府立洛南病院。平成17年より副院長を務める。

日本精神科救急学会常任理事。



地下鉄・烏丸御池駅または四条駅、阪急・烏丸駅下車徒歩5分
*会場には駐車場がありません。
京都市営地下鉄等の公共交通機関をご利用下さい。

発行元：京都市こころの健康増進センター相談援助課
平成26年10月発行

京都市印刷物第 264598 号



京都市



地域コミュニティ
活性化ロゴマーク

われらは京都市ゲートキーパーズ!! 大切な人の命を守る! それがゲートキーパー

Facebook
はじめました



<https://www.facebook.com/kokorohothot>

内容

- 精神保健福祉に関する講演や研修のお知らせ
- 相談会や相談電話等の案内
- 京都で見つけた **ホット**とするもの など。

皆さんの投稿を
お待ちしております!



「ゲートキーパー」って? ↓

京都市 ゲートキーパーズ 検索